

やさしさ、あったかさを **発信!**



南阿蘇社協だより

日赤防災ボランティア 初級研修会を実施

ハイゼックスを使用しての
炊き出し訓練の様子
(詳しくは3ページ)

No.66

平成29年.9.29
発行

編集・発行 社会福祉法人 南阿蘇村社会福祉協議会
TEL 0967-67-0294 FAX 0967-67-2317
<http://www.asoyamabiko.hinokuni-net.jp/minamiaso/>

日赤防災ボランティア 初級研修会を開催しました

いざという時に備える。

平成29年9月8日(金)、久木野総合福祉センターにおいて、災害時に支援活動を行うボランティアの育成を目的に「日赤防災ボランティア初級研修会」を開催しました。日赤熊本県支部、坂本清美先生の指導のもと18名の方が参加され、ハイゼックス(災害救助用炊飯袋)を使用しての炊き出し訓練、心肺蘇生法やAEDの使用法など、いざというときに役立つ知識を学びました。

昨年の、熊本地震において福祉センターの避難所では、発災直後、災害炊き出し用の釜で多くの避難者の食事を作りました。

災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。いざという時の備えとなる様、この研修会で学ばれた知識を今後、地域の中で役立てていただきたいと思います。



日赤熊本県支部
坂本清美先生

地域の高齢者の
防災力。

心肺蘇生法の様子



参加された皆さん



ハイゼックス(災害救助用炊飯袋)とは…

災害発生時、水や食料品など不十分の時、災害現場や避難所等でハイゼックスを使った非常用の炊き出しご飯が役に立ちます。一度に大量にでき、貴重な水を大量に使用できない災害時には、とても有効な炊き出し方法です。



炊き出し訓練の様子



参加された方からの感想

●災害時の対応は必ず必要になるので、本日の炊き出し訓練及び災害時高齢者支援の研修は大変参考になりました。今後役立てていきたいです。

●ためになる、役に立つお話や実技をたくさん教えていただきとても勉強になりました。さっそく家に帰り今日のことを家族に話したいと思います。

●救命処置、AEDの使い方など実際に体験する事ができて良かったです。もっとたくさんの方に受講してほしいと思いました。

日本赤十字会費募集にご協力いただきありがとうございました。

平成29年度の日本赤十字の会費募集につきましては、村民の皆様の温かいご理解とご協力によりまして、目標額に達成することができました。納めて頂きました会費は、幅広く展開されております日本赤十字社の各種の事業に充てられます。

○平成29年度日赤会費実績

白水地区	特別会員	普通会員	人数計	合計額
両併一		104	104	52,000
両併二		75	75	75,000
両併三		17	17	17,000
白川		171	171	85,500
吉田一	2	136	138	92,400
吉田二		87	87	54,500
吉田三		118	118	118,000
一関一		96	96	63,000
一関二		38	38	38,000
中松一		94	94	94,000
中松二	1	75	76	76,500
中松三		116	116	116,000
合計	3	1,127	1,130	881,900

久木野地区	特別会員	普通会員	人数計	合計額
第1駐在		61	61	60,000
第2駐在	7	44	51	58,000
第3駐在	1	76	77	74,500
第4駐在	3	71	74	76,000
第5駐在	5	84	89	94,000
第6駐在		31	31	29,500
第7駐在	4	100	104	107,500
第8駐在	4	129	133	136,000
第9駐在				30,000
合計	24	596	620	665,500

長陽地区	特別会員	普通会員	人数計	合計額
東下田		110	110	107,000
下田		69	69	63,500
加勢		51	51	44,500
川後田		37	37	36,500
喜多		82	82	82,000
栃木	1	63	64	60,000
袴野	9	2	11	20,000
長野		86	86	85,500
乙ヶ瀬		47	47	47,000
沢津野		34	34	17,000
下野		140	140	96,300
赤瀬		6	6	6,000
立野駅	1	48	49	50,000
合計	11	775	786	715,300

総合計	特別会員	普通会員	人数計	総計
	38	2,498	2,536	2,262,700

¥2,262,700

お世話になりました

平成29年度熊本学園大学 社会福祉学部ソーシャルワーク実習

初めての実習でしたので、緊張や不安もありましたが、実際に行ってみたらわかりやすく指導してもらい、行くまでは知らなかった取り組みや考え方を聴いて理解できました。地域の集まりに同席させてもらい、地域の人とのつながりの強さを見て、地域の人の助けがあつてこそ福祉活動だと思いました。自分自身も地域の人に支えられているのだと実感し、これからの勉強をしっかりと続けて社会福祉士を目指し、地元へ恩を返せるよう努力したいと思っています。

実習期間は楽しく、とても貴重な経験として忘れないようにしたいです。

ありがとうございました。

南阿蘇村社会福祉協議会に8月8日から12日間、社会福祉士の実習でお世話になりました。



熊本学園大学
社会福祉学部 3年
桑田 祐輝さん
(栃木区)

この度、社会福祉の専門職として必要な専門知識、専門援助の方法、技術等を習得するため実習が行われました。実習では、対象者やその家族、その背景にある地域の実情等を学びました。

私の生きがい



乙ヶ瀬区
藤本 五月さん
大正9年6月14日生まれ(97歳)

インタビュー

○元気の秘訣は何ですか？
◎天気の良い日は畑の手入れをします。畑に行くと野菜作りをしたり、体を動かすことが、とても好きです。
○楽しみは何ですか？
◎ひ孫と遊んだり、成長しているのを見るのが楽しみです。
☆「自分でできることは、できるだけ自分でしよります」と、元気はつらつと頼もしいおじいちゃんでした。

〈生活困窮者等自立相談支援事業〉

～ 暮らしの相談窓口を
開設しています ～

日々の生活のなかでの不安や困りごとを
社会福祉協議会(社協)にお聞かせください。
一人ひとりの状況に合わせた支援内容を考え、
専門の機関・団体と連携して、解決に向けた支援を行います。



● 仕事のこと……

- 就職したいが、仕事が見つからない
- すぐに仕事を始めることが不安

● 住まいのこと……

- 家賃を滞納し、家を出なければならない
- 会社を解雇され、家も失った

● 生活費のこと……

- 借金や公共料金の滞納があり困っている
- 家計のやりくりがうまくできず、生活費が足りない

● 子ども・家族のこと……

- 子どもの学校や勉強のことが心配
- 家に引きこもっている家族がいる

相談無料

秘密は
守ります

受付日時

月～金曜日 9時～17時

(※土・日、祝日はお休みです)

お問い合わせ

南阿蘇村社会福祉協議会内
〈総合相談窓口〉

TEL 0967-67-0294

一緒に考えていきましょう! ご相談ください。

この相談窓口は、平成27年4月に施行された「生活困窮者自立支援法」に基づき、
熊本県社協からの委託により南阿蘇村社会福祉協議会が事業を受託して行っており
ます。社会情勢の変化にとまなない、さまざまな課題を抱える住民の相談に早期かつ
包括的に応じることのできる総合相談窓口を新たに設置するものです。本人ばかり
でなく、ご家族、地域住民からのご相談を受け付けております。



夏の福祉体験

児童、生徒のワークキャンプ事業

支え合うことの大切さを学ぶ。

小・中学生が福祉施設で利用者の介護などを体験するワークキャンプ事業が夏休みを利用して行われ、村内の小・中学校から123名が参加しました。

お年寄りや障がいのある方々のお話相手や日常生活のお世話等の体験を通して、やさしさや思いやりの心を学びました。



やさしさ証明
参加された生徒さんに授与しました。



ワークキャンプ体験を行った施設

- *特別養護老人ホーム「水生苑」
- *リハセンター「ひばり」
- *特別養護老人ホーム「陽ノ丘荘」
- *南阿蘇ケアサービス
- *南阿蘇村社会福祉協議会

ご協力ありがとうございました

日田市災害ボランティアセンター
運営支援を行いました。平成29年7
月5日から6
日にかけて福
岡・大分県を
中心とする九
州北部で集中
豪雨が発生し、
甚大な被害を
もたらしまし
た。被災されま
した方々に心
よりお見舞い
申し上げます。
発災後、被災
地支援のため
全国各地から
多くのボラン
ティアの方や支
援団体等が駆けつけ、中、南阿蘇村
社協では、昨年の熊本地震での災害
ボランティアセンターの運営支援の
恩返しとともに、その時の経験を活
かして被災地社協のサポートに当
たりました。受
付オリエンテー
ション、資材など
の運営業務支援、又ボランティア
活動でも参加しました。

被災家屋



土砂



資材片付け

被災状況は
地域によって
様々ですが、
家屋内外の土
砂や流木の撤
去片づけな
ど、ボランティ
アの方々の力
によって被災地の復旧が支えられ
ました。

資材洗浄

昨年の熊本
地震・九州北
部豪雨災害、
同じ被災地と
して復興を考
えていく中で、
自分たちで
きる支援を少
しでもやってい
きたいと思いま
す。
地域福祉活動を推進する社協だ
からこそ、村民の皆さんのこれか
らの生活を一緒に考えていくことが大
切だと感じております。

受付



オリエンテーション

第10回

みなみあそボランティアまつりを開催します

ボランティア活動や福祉への理解を深める場として「第10回みなみあそボランティアまつり」を開催いたします。ボランティア体験発表や講演会、災害炊き出し訓練、出店、お楽しみ抽選会などさまざまな催しを予定しています。

★日 時 平成29年11月12日(日) 午前9:30～

★会 場 久木野総合福祉センター

★講演会 長船なお美氏

★主 催 南阿蘇村ボランティア連絡協議会、南阿蘇村社会福祉協議会

【内容】 講演会／ボランティア体験発表／筋肉バランス測定コーナー
展示コーナー／災害炊き出し訓練／アトラクション／バザー
お楽しみ抽選会など

●●●●● バザー用品募集 ●●●●●

まつりでバザーを実施しますので、ご家庭に眠っている生活
雑貨・日用品などありましたらご協力お願い致します。

※衣類は受け付けておりません。

○持ち込み場所 久木野総合福祉センター

○連絡先 南阿蘇村社会福祉協議会(67-0294)

皆さんの
参加を
お待ちしております。社協より
送迎
致します

第15回

阿蘇やまびこ
ふれあいフェスタ
開催します“阿蘇は大きな家族”
地域住民同士の支え合いの輪を広げる★期日 平成29年
10月21日(土)
9:15～13:00

★会場 阿蘇市体育館

○復興支援音楽祭

○公演 ひごにわか
『劇団 肥後仁の伽』

★昼食(災害炊き出し訓練)

デイサービスコーナー

ミニミニ夏祭りを開催しました！

デイサービス利用者の皆さんが楽しみにしておられる毎
年恒例の「ミニミニ夏祭り」。今年は、ふれあい音楽隊、踊り、バルーンアート、久木野保
育所マーチングなど、たくさんのボランティアさんで夏祭り
を盛り上げていただき楽しい時間を過ごされました。

はなみずき会の皆さんによる踊り



笑顔満開！

“南阿蘇太鼓”

かわいい
久木野保育所の園児による
マーチングわた菓子、
かき氷に
にっこり。

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金のお願い

本年も全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が10月1日から12月31日までの3カ月間にわたり展開されます。
赤い羽根共同募金は、事前に使いみちの計画を立ててから募金を行う、計画募金です。皆様から寄せられた募金は、翌
年度、地域配分金として社会福祉協議会へ配分され、南阿蘇村の地域福祉事業に役立てられています。

28年度実績	3,252,151円(南阿蘇村募金総額)
29年度地域配分金	2,597,171円(社会福祉協議会への配分)
29年度広域配分	655,000円(県下の民間福祉団体への配分)

▼南阿蘇村では共同募金配分金で下記の事業を行っています▼

- ・社協だよりの発行(年6回)
- ・みなみあそボランティアまつりの開催
- ・福祉運動会の開催
- ・一人暮らし高齢者の泊まりがけサービス事業
- ・一日親子ふれあい事業

今年の南阿蘇村の目標額は **3,200,000円**です。

今年も皆様の温かいご協力をよろしく申し上げます。

赤い羽根は小さなことをしています。
赤い羽根共同募金

いずれも お問い合わせ先は

南阿蘇村社会福祉協議会

☎67-0294

シリーズ 人と人をつなぐ “やまびこネットワーク”

南阿蘇村全地区に!

南阿蘇村やまびこネットワーク活動

社協では、地域で何らかの援護が必要な方が住み慣れた地域で安心していきいきと生活できるよう、近隣の住民が地域ぐるみで温かく見守り、支えていく地域づくりの活動支援を行っています。

立ちあげや連絡会など
お気軽にご相談ください。



この広報紙は共同募金配分金で作成しています。



両井二区
サロンの前の
“健康チェック”

声かけ
見守り活動



中松二区
筋力体操や
歩行訓練を実施



川後田区
皆で楽しく会話と食事



声かけの様子

近くの公民館で茶話会やレクリエーションなどのサロン活動を実施。地域の中での孤立や閉じこもり予防、又、体操やレクリエーションを楽しむことで介護予防につながります。



第五駐在区
まずは“笑い”が一番

物品貸出

- 貸出対象者 村内で福祉活動及びボランティア活動で使用される方
 - 貸出期間 2日間 利用料 無料
- 貸出を希望される方は 南阿蘇村社会福祉協議会まで(67-0294)

貸出物品種類



輪投げ



室内ペタンク



スロットボール



ドッチビー

など

『ふれあいいきいきサロン』や『子ども会』等でご利用下さい。

あとかき



暑い季節が過ぎ、初秋の時期を迎えとても過ごしやすい季節となりました。

“秋”といえば…食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋など連想するものは人それぞれ違うかもしれません。そして紅葉もとてもステキですね。秋は行事や楽しいイベントも盛りだくさんの季節です。

皆さんはどんな秋を楽しみますか?

震災後、地域支え合いセンターが開設して一年が経ちました。一人ひとり復興のスピードは違いますが、被災された方々が一日も早く安心した生活が送られますよう願います。



みんなみんなの みなみちゃん